

秋の深まり。 地域の方の心遣いに感謝いたします。 Vol.6

『秋深き 隣は何を する人ぞ』 この俳句は皆さんご存知の『奥の細道』で有名な松尾芭蕉の俳句です。秋になると、風景も美しく、食べ物もおいしくなります。「さて、隣の人は、何を して楽しもうとしているのかな……」と耳をそばだてている情景を歌っています。さて、街角にキンモクセイの花の香り漂う季節になりました。私はキンモクセイの花の香りを嗅ぐと、小学生時代の遠足の道中をなぜか思い出します。先週は1年生が京都水族館に行きました。他学年も11月～12月上旬に校外学習に行く予定です。存分に学びの体験を積んでくださいね。

校長室に生けられた、黄色い小菊、ホトトギスそしてコスモス。3種とも蕾をたくさん持って、何色でどんな花が咲くのか楽しみです。気温も低くなったので、花持ちが良くなってくれることを期待しています。さて、一年の折り返しにそろそろ入ります。心落ち着かせ、先を見据えねば。



正門を入ったスロープのコンテナに植えられている、これも秋を代表する花、ナadeshikoです。花言葉は、「無邪気」・「純愛」。日本に古くからあり『万葉集』にもよく詠まれています。種類はたくさんありますが、その優しい姿に加えて、芯の強さと清楚な美しさのある印象から『やまとなでしこ』として、日本女性を例える花になっていますよね。

児童下足室前の廊下の角に生けられた、黄色い小菊とホトトギス、そして、背後で枝先に丸い実をつけているのはヤブサンザシです。ホトトギスと言えば『鳥』を思い浮かべますが、秋の『山野草』としてのホトトギスも有名です。また、背後の枝状のヤブサンザシは、生け花や盆栽によく用いられるようです。秋が深まり、丸い実が赤く熟してくるのを楽しみにしています。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくり=人づくり。感謝しております。